



3

【Q】50代男性です。前立腺がん検診を受けたらPSA値が高いとの結果が戻ってきました。ところが、私よりもPSA値が高かった70代の知人は異常なしという結果でした。どういうことでしょうか。どうすればよいのでしょうか。

【A】最初にPSAについて説明します。P

PSA値が高い



はせがわ しんたろう
長谷川 親太郎

がんの有無 病理検査を

SAは前立腺特異抗原 (Prostate Specific Antigen) のことで、大変有用な前立腺がんの腫瘍マーカーです。臓器特異性が高く、前立腺がん以外のがんでは上がりませんが、前立腺肥大症や前立腺炎でも高値を示すことがありますので、PSA値が高いからといってすぐに前立腺

がんと決めつけることはできません。また、前立腺肥大症は一種の老化現象ですので、高齢であるほど罹患率は高くなり、前立腺肥大症によるPSA高値の可能性は高まります。

そこで年齢別にPSA基準値を設定する方が、検診の有用性が高くなると考えられています。栃木県では行政の理解と協力を得て、別表の年齢階層別PSA基準値を広く採用しています。これに当てはめると、50代の3・4は異常値ですが、70

年齢階層別PSA基準値

年齢(歳)	50～64	65～69	70～
PSA基準値 (ng/ml)	0～3.0	0～3.5	0～4.0

代の3・8は基準値の範囲内となります。これが一つ目の質問に対する回答です。では、どうするのがよいのかに関してですが、

泌尿器科専門医を受診すべきだと考えます。前立腺がんか、そうでないかを診断するためには前立腺針生検を行う必要があります。超音波で前立腺を確認しながら、前立腺に細い針を刺して前立腺組織を採取し、病理検査上がんの有無を調べる検査です。この検査はある程度リスクを伴いますので、泌尿器科専門医から十分に説明を受けてください。針生検の結果、前立腺がんが確定したからといって悲観してはいけません。悪性度と進行度の組み合わせで病状が決まるのですが、前立腺がんにはさまざまな治療法が確立されており、前立腺が

が確定した後も長生きする方は大勢いらっしゃいます。皆さまに少しでも長生きしていただきたいので、検診で異常となれば必ず泌尿器科専門医を受診してください。(第2、4金曜日掲載)

ドクターへの質問を募集します。お寄せいただいた中から毎月2件、紙面で回答します。病気の症状や経過などをなるべく詳しく書いてください。名前(匿名可)、年齢、性別、連絡先(住所、電話番号)を明記し、〒322-0186、下野新聞社くらし文化部「健康よろず相談室」係へ。住所不要。FAX(0286-625-1185)、メール(dotiko@shimotsuke.co.jp)でも受け付けます。